

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

2月の活動予定

2月4日(火) 第一例会

2月8(土)or9(日) 高社山
CL・・・2月15日(土) 山のセミナー
場所:豊科公民館
メラピークの報告があります。

2月18日(火) 第二例会

2月23(日) or24(月)
守屋山
CL・・・

3月の活動予定

3月3日(火) 第一例会

3月24日(火) 総会 第二例会
今年度の総会は、3月24日(火)を予定しております。
今から都合をつけて参加をお願いします。

山岳保険の申し込み

来年度の山岳保険の申し込みの時期になりました。会長が取りまとめて下さるそうです。3月3日第一例会までに申し込みください。

会費納入について

今年度の会費未納の方は必ず、下記口座までお振込みください。
八十二銀行大門町支店
普通預金
山岳クラブホワイトバーチ長野
会員：6000円
会友：2000円

1・2月の活動報告

1月3・4日(金・土) 冬合宿

阿弥陀岳・赤岳

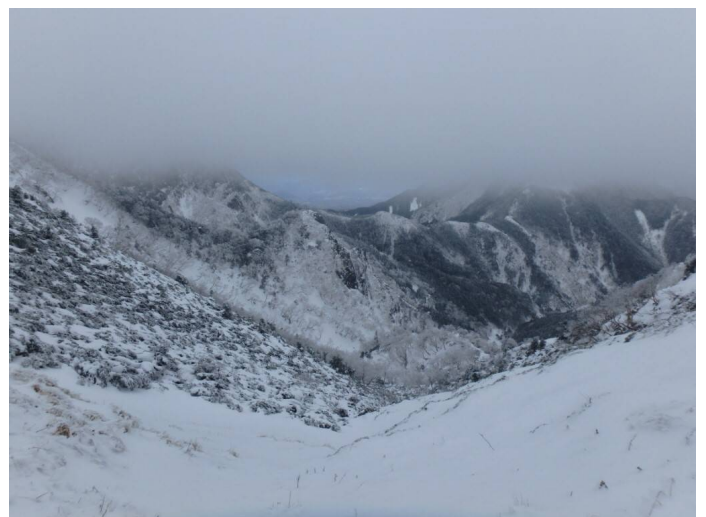
参加者:

1月3日(金) 阿弥陀岳 北陵

参加者:

暗い駐車場に到着。車から降りたら、凍っていてツルツル滑る。始めからアイゼンを付けて暗闇の中を歩く。行者小屋に着くまでの間も、雪は少ない。私はザックの重みに負けて、ペースダウン。時間がかかってしまった。

テント場は満杯では無いが、小屋に近い場所に仮止めしてスペース確保。



遅い出発になったが、装備を整えて阿弥陀岳への分岐に向かう。夏道を登って行く。途中、開けた所で沢を渡り、上ると細いきれいな尾根に突き当たった。しばらくでジャンクシ

ンピークに合流。ここまで、ラッセルは無い。少し登ると傾斜がかなりきつくなる。灌木と草つきの急斜面。少雪の為に登りづらく、ピッケル効かせながら枯れ草や枝を握る。今日は天気悪くガスが掛かり、周囲の尾根も見えずルート確認がしづらい。前進か撤退かと思われた時に、後続者が登ってくる。GPS 情報から、岩峰まで5分くらいの所だった。第1岩峰ではCLにリードしてもらい、安全にクラックを上がることができたが、最後の一步を右に出るか、左に出るかでタイムロスした。難しい。上がったら意外と岩がゴツゴツ出ている。前回は雪で真っ白だった気がする。



第2岩峰の取り付けは、岩がしっかりしていたが、回り込んだ斜面は足元が崩れやすいし、手がかりが不安。打ち込んだピッケルが頼りだ。最後のナイブリッジでは、蟻の塔渡りとどちらが狭いかなどと、余計な事を考えた。無事に山頂到着。強風！写真を撮ってすぐ下山。夏道に雪が少なかったら怖いなあと思っていた。雪は多くないが、鎖を握ったりしてゆっくりコルまで降りる。中岳沢も雪崩の宝庫なので心配したが、積雪量少ないので沢を足早に下った。積雪量によってだいぶ、ルート感じも変わる。岩峰もザイルで確保されているから安心して登れる。リードしてくださったお二人、ありがとうございました。夜は全員でお鍋を囲み、ワインで乾杯！美味しく頂き満腹！明日への英気を蓄えます。

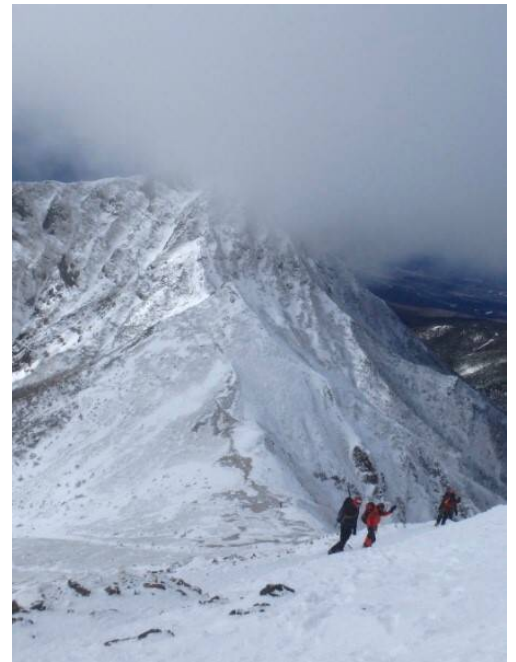


1月4日(土) 赤岳 南峰リッジ

参加者：

緊張の中、ヘッドランプをつけ行者小屋を出発。文三郎尾根を登っていく。途中から取り付け方向へとハイマツの中へ入っていく。雪は少なく、踏みつけるとハイマツの中に足が入っていく。取り付けまで雪が薄く、岩場を回り込むような箇所があった。みんなはスーツと取り付いていくが、問題児の私のために さんがロープを出してくれた。ロープがあつて良かった(涙)。取り付けにくるまでに、体力もメンタルのエネルギーも、だいぶ消費してしまった気がする。不安？でも、ここまで来たからには最後までやるしかない。

不安の中での1P目。安全に登って、ギアも回収しなくちゃ…。なんとかかできた。落ち着いてやれば、できる。待っている間は体が冷えて震えがくる。防寒対策はしてきたが、風が吹く中でとまっていると、とにかく体が冷えた。2P目も終わり、3P目。いきなり抱えこむような岩を登らなければならない。すぐ上で さんがザイルを引っ張ってくれた。安心して動く事ができた。でも涙が出ました。4P目は歩けば着きそうな…。山頂からは、もう登頂済みの 会長が手を振ってくれている。やっと山頂に顔をだす。風が強い。でもヤッター！。うれしさと、不安からの開放感。なんとも言えない達成感があった。色々迷ったが、来て良かった。 会長、 さん、一緒に登った皆さんに感謝です。ありがとうございました。帰りの文三郎尾根は、心も軽く、うれしくて転がるように降りてきました。登坂途中に見た阿弥陀岳の迫ってくるような大きさ。帰りに振り返った赤岳の厳しさと美しさが忘れられない。





自宅に帰り送られてきたLINEの写真の中に、ぐちゃぐちゃのザイルワークの中に立つ夫の写真を
見て、よくぞこの未熟な私
たちを連れて行ってくだ
さったと改めて感謝した
のでした。)



1/3

先発隊 もみの湯 3:50 発—赤岳山荘 5:00 発—行者小屋
8:10-9:15—北稜から阿弥陀岳 13:10—中岳のコル 13:30—
行者小屋 14:00

1/4

行者小屋発 6:25—文三郎尾根から 7:30—赤岳到着 B 班
10:50? A 班 12:20 —赤岳山頂 A 班発 12:35—行者小屋
13:30 ぐらい—行者小屋発 14:30—赤岳山荘(15:50)